

# アルジェリア便り

我孫子市 小野千良

ここはアルジェリアの中  
央高原地帯です。地中海沿  
岸部から八〇kmくらい離れ  
た海岸線にほぼ平行に位置  
している地域です。

着任早々の六月初めの一  
週間ごろまでは、毎日雨模  
様で、当地は海拔八〇〇m  
くらいのところのため、毎  
日が肌寒く、半袖しか持っ  
て来ていない私は、毎日震  
えていました。夜は二m×  
二mくらいの大きな窓を開  
めて、ベッドの毛布をかけ  
て寝ればちょうど良い心地  
よさで安眠。グッスリ。

たこの高原地帯にもいよい  
よアルジェリアの熱い夏が  
到来したのです。

穴あき煉瓦を積んだだけ  
の表面はモルタルを粗つぼ  
く化粧塗りの豪華なマン  
ションは、昼間の鼓烈な日  
光にあぶられて、建物全体  
に熱がこもります。石窯で  
す。私はピザか。真夜中過  
ぎでも三十五度くらいの室  
温があります(測ったこと  
はありません)夜中三時を  
過ぎると若干涼しくなりま  
す。そんなにも熱いので(暑  
いではありません。クソ  
熱いのです)私はコンク  
リートの上にシーツを敷い  
て、涼しくなるまで床に寝

ています。

でも、その痛いこと、お  
尻の骨や膝の関節がコンク  
リートの上にゴリゴリあた  
り、痛くて痛くて。ヨーロッ  
パ中世の拷問器具の上で寝  
ています。でもベッドの上  
だと、真夏の暖房毛布に寝  
ているようで、汗がタラー  
リタラーリ。(筑波のガマ  
の油売りです)どうでもい  
い。熱いーッ。痛くても我  
慢、我慢。床のほうかひん  
やり冷たいので、寝るには  
ちょうど良いのです。  
でも痛くて寝られません  
(どうすればいいのダーッ)

## 金曜日は日曜日

六月初めまで夜は窓を開  
めて快眠をエンジョイして  
いたのに、今はもう熱くて  
大変、夜は窓を開けました。  
その途端です。大変大変大  
騒ぎです。油断しました。

今度はハエと蚊の大群が押  
し寄せ、毎晩二〜三回ほど  
目を覚ましては、殺虫ス  
プレーを使つての大格闘。  
シューツと一発、二発、三  
発。憎つくき敵はコロコロ、  
面白いほど効きます。とこ  
ろがまたまた大変。こちら  
の殺虫スプレーが、これま  
だ強烈。蚊どころか私まで  
殺されそうになりました。  
金曜日は仕事をせずに済  
み、久しぶりに休めたので  
(アルジェリアの金曜日は  
日本の日曜日です。イスラ  
ム暦で、キリスト教のグレ  
ゴリオ暦と真つ向から勝負  
を挑んで恥ます。立派です)  
街中をほうぼう探し回つて

ようやく網戸のネットを買  
いました。これがまた面白  
いのです。網戸のネット  
は、洋服生地専門店といつ  
ても日本で想像するような  
きれいなお店ではありません  
。狭いお店のところ狭し  
とばかりにごちゃごちゃ飾  
られています。ウインドー!  
ショッピングも何もあつた  
ものではありません。店主  
はもう飾りつけに必死!! 話  
を戻して。洋服生地専門  
店で売っていたのです。何と  
防虫ネットとしてです。と  
ころ変われば品変わる。品  
は変わりません。防虫ネッ  
トです。

## 絶叫のコーラン

窓に取り付け、ようやく  
ハエと蚊との長く苦しい戦  
いは終わりました。私の勝  
利です。輝かしい勝利です。  
今晚からはグッスリ寝られ  
る。と思つたその時、大音